



# 虹のマーチ

2012.2  
第21号

川越地区消防組合



街頭広報の様子です。ゆるキャラの「ときも」も応援に駆けつけてくれました。(写真右下)

してますか？ 火の用心！！  
火災予防運動 街頭広報実施中

## 平成24年春の全国火災予防運動

今年度の全国統一防火標語「消したはず 決めつけない もう一度」を掲げ、平成24年3月1日から7日までの一週間、「春の全国火災予防運動」が実施されます。

この運動は、これから春先にかけて気温が変化することにも空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となることから、住民の皆様の火災予防に対する意識を高め、火災から尊い命と財産を守ることを目的として行われます。

当消防組合では、火災予防運動の時期に合わせて、消防車による広報やポスターの掲示などで、住民の皆様へ火災予防を呼びかけています。また川越市、川島町管内で催す消防のイベントでは、「コバトン」や「ときも」、「かわべえ」といったお馴染みのご当地ゆるキャラ達が住宅用火災警報器をPRします。見かけたら、ぜひ声をかけてみましょう。

火災の原因は「放火・放火の疑い」、「たばこ」、「コンロ」によるものが全体の約半数を占めています。しかしその他にも、暖房器具や電気機器、加熱調理器など、いつも家の中で何気なく使っているものにも火災の危険は潜んでいます。

### 「火の用心」で無くそう住宅火災！

全国の統計からみると、火災の種類では住宅火災が最も多く、その住宅火災で亡くなられた方の約半数が「逃げ遅れ」によるもので、そのうちの約6割が15歳以下の子供と65歳以上の高齢者です。住宅火災では、炎や煙に抵抗する力が弱い方々が亡くなっているのです。

住宅火災の死者をなくすために、全国的に住宅用火災警報器の設置と維持管理が義務づけられています。大切な命と財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。

皆さん一人ひとりがしっかりと防火を心がけ、家の中にはもちろん、家の周囲やご近所も含め、地域ぐるみで火災予防を万全にしましょう。

消防局予防課 Tel 222-0744



# 安心のメンテナンスをお願いします！

住宅用火災警報器を設置したそのあとは、住宅火災から皆さんの大切な命を守る住宅用火災警報器。「いざ！」という時にきちんと働くよう、日ごろから点検とお手入れをおこなう。

## ―点検―

- 最低でも1年に1回以上、作動点検をしましょう！ また、次のようなときも必ず作動点検をしてください。
- 初めて設置したとき。
- 設置場所を変えたとき。
- お手入れや掃除をしたとき。
- 故障や電池切れの疑いがあるとき。

## 点検のしかた



鳴ればOK!

引きひもを引く  
または  
ボタンを押す

※点検方法はひも式とボタン式があり、機種によって異なりますので、取扱説明書を確認してから点検してください。

## 音が鳴らない…？

- 次のことを確認し、試してください。
- 電池はきちんとセットされていますか？
- 電池は切れていませんか？
- 再度ボタンを押すか、ひもを引いてください。
- ※それでも鳴らない場合は、電池切れや故障が考えられます。

## ―お手入れ―

住宅用火災警報器にはほりやくモの巣が付くと、火災の煙を感知しにくくなります。1年に1回は、乾いた布でふき取りましょう。



次のことはしないでください。  
故障や破損の原因になります。

- シンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- 水洗いもしけません。
- 煙の流入口をふさいだり、傷付いたりしないようご注意ください。

## 火災以外で鳴るケース

住宅用火災警報器は火災以外でも鳴ることがあります。その主な原因として、故障や電池切れが挙げられます。

住宅用火災警報器は、設置した後の維持管理も大切です。もしもの時に確実に働くよう、安心のメンテナンスをお願いします。

消防局予防課 Tel 222-0744

## 身近に潜む火災の危険!!

電磁調理器具使用時の出火

近頃、IH方式の電磁調理器が人気です。一般的な電磁調理器は温度設定ができるようになっていて、設定温度まで徐々に加熱し、油が発火しないように温度を自動調節できることが特徴です。しかし、少量の油を加熱する場合、センサーの検知温度に誤差が生じて、油の温度が急激に上昇し、発火することがあります。使用の際は、次のことに注意してください。

- 取扱説明書をよく読み正しく使用する。
- 適正な油の量で調理する。
- 鍋底に反りがある場合、温度制御ができない場合があるため、専用の鍋を使用する。
- 調理中はコンロのそばを絶対に離れない。



## くたばこによる火災

くたばこが原因の火災は、例年、火災原因の上位となっています。寝たばこや火種の落下など、不注意による火災が後を絶ちません。

特に、くたばこの火種が布団の上に落ちると、炎と煙の出ない無煙燃焼が進行するため、気づくのが遅れ、被害が大きくなる場合があります。

くたばこからの火災は、喫煙者の注意とマナー向上で防ぐことができます。くたばこによる火災を防ぐため、次のことに注意してください。

- くわえたばこ、寝たばこをしない。
- 灰皿の近くに燃えやすいものを置かない。
- 灰皿の後始末はもちろん、吸殻には水をかけて、完全に消火してから捨てる。

消防局予防課 Tel 222-0744

# 2011年度全国統一防火標語 消したはず 決めつけないで もう一度



## 119番その時!! 通信指令室からのお願い

### ●119番する時は:

みなさんは119番通報をしたことがありますか?

「私はあわてないで通報できるから大丈夫!」と思っても、家族がけがや病気で倒れたり、目の前で火災が起きたりすると、落ち着いて通報できないものです。

特に住所や電話番号を正しく言えない場合が多いので、電話の近くに住所と電話番号をメモしておくといいでしょう。

当消防組合では、通報後、直ちに消防車や救急車を出動させますが、最近では携帯電話からの通報が増加し、通報者自身が今いる住所がわからないため、災害発生場所の特定に時間がかかってしまうことが増えています。

もしも今いる住所がわからない時には、近くの人に住所を尋ねたり、付近の住宅の表札などに書いてある住所を確認したりしてください。



また、そこから見えるビルや店舗の名前、目標となる大きな建物の名称を言ってもらえれば、迅速な場所の特定につながります。

### ●救急病院など、医療機関の案内をしています

最近、「病院まで行く交通手段がない」、「どこで診てもらえばいいかわからない」、「救急車で行けば、優先的に診てもらえるだろう」といった理由での救急車の要請が増えています。

限られた台数の救急車が、緊急性の高い傷病者のもとへ急行できるよう、通信指令室では、その日の当番医や救急病院など、受診可能な医療機関



の案内をしています。緊急性が少なく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。

119番は緊急を要する番号です。いたずら通報は絶対にやめてください。また、通報の際は「落ち着いて、ゆっくり・はっきり・正確に」。

通信指令室からのお願いです。  
消防局指揮統制課 Tel222-0700

### 第1回警防活動技術指導訓練を実施

平成23年10月20日から10月28日までの期間、川島消防署にて「警防活動技術指導訓練」を実施しました。

当消防組合では、災害活動における知識と技術、判断力や安全管理能力など、総合的な指導能力を備えた隊員を育成し、複雑多様化する災害に立ち向かえるよう、熟練隊員から若手隊員への災害活動技術の継承を目的に、本訓練を実施しました。

今回の訓練では、10名の若手精鋭隊員に実災害における的確な判断力と、高度な現場活動技術を習得させ、指導能力の向上を図りました。



はしごを使い、屋外から上階へ消防ホースを設定する訓練



煙が充滿する室内への進入直前、装備品の状態を確認する隊員

当消防組合では今後も訓練を積み重ね、指導能力を備えた隊員を育成し、隊員間での知識と技術

のレベルを図り、組織の消防力をより一層高め、地域住民の安心・安全を守っていきます。

消防局警防課 Tel222-5891



## 消防署を見学してみませんか?

当消防組合では、小学生や幼稚園、保育園、地域の親子サークルなど、毎年、およそ四千人が消防署の施設や消防車の見学に訪れ、トレーニング用の消火器を使った消火訓練を体験したり、AEDの取り扱い方法を学んだり、消防署の見学ならではの色々な体験をしています。

今回も、組合管内の幼稚園に通う園児80名が川越中央消防署を訪れ、消防車の見学後、消防のお友達、腹話術人形の「消ちゃん」と火遊びはしないことを約束しました。

今後も消防署の施設見学などを通じて、地域に開かれた消防行政を目指していきます。



消ちゃんと「火の用心」のお約束

### 問い合わせ

- 川越北消防署消防課 Tel226-7290
- 川越中央消防署消防課 Tel242-2365
- 川越西消防署消防課 Tel231-2066
- 川島消防署消防課 Tel297-1891

## お知らせ

今回の虹のマーチでは、川越市消防団、川島町消防団の紹介記事を掲載しています。どうぞご覧ください!



# 川越市消防団だより

第一号

## 消防団長あいさつ

川越市消防団 団長の貫井達也です。

今号より、広報誌「虹のまち」で川越市消防団だよりを年1回掲載させていただきますことになりました。



川越市消防団長 貫井達也

また、台風や集中豪雨の時には、河川の状況確認、氾濫や堤防の決壊などが起きないように土の積みなどの活動も行います。

災害から市民の皆様の生命、身体、財産を守るための活動を行う消防団ですが、消防団を取り巻く環境は社会構造の変化にともない、団員の高齢化、サラリーマン団員の増加、団員確保など大変厳しい状況にあります。

このような状況下、当消防団の将来像を見据え「災害対応力のある組織の確立」「消防団の施設・装備の充実」「消防団員の確保と処遇改善」「教育と訓練の充実」「地域との連携」の活動指針のもと、災害時の消火・救助活動を始めとして平時における防火広報活動、消火救助訓練、出初式、特別点検などを行っています。

「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち 川越」のまちづくりに貢献して参りますので消防団活動に對しまして市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

地域防災の担い手である川越市消防団は、普段はサラリーマンや自営業・農業など仕事を持つかたわら、消防団活動を行っています。

いざ火災などの災害が発生すると、消防署から担当地域の分団長に緊急連絡が入り、分団車庫に参集し、災害現場に向かいます。建物火災の場合、隣接の2つの分団も駆けつけ、消火活動や後方支援など行います。



喜多院での文化財防火訓練



水防演習にて団員集合

## 活躍する女性消防団員

女性消防団員は、防火広報活動の強化のため、平成16年4月1日に採用され活動を開始しました。

女性の優しさ、思いやり、きめ細やかさを最大限に発揮して、市民の皆様と接することを心がけています。

活動内容は、AEDの使用法を含む心肺蘇生を指導する救命講習の実施、小学生を主な対象とした着ぐるみや紙芝居などを用いての防火・防災教室の開催、火災予防運動の時期に行う防火広報やホームページの作成といった広報活動など、ソフト面に重点を置いた活動を展開しています。

また、平成23年4月1日より消防団員の条例定数が増員されたことを受け、女性消防団員の募集PRに力を入れています。

年齢も生活環境も様々ですが、皆で力を合せて仲良く楽しく活動しています。

女性消防団員になると、次のようなメリットがあります。

- 同じ目標を持つ仲間ができる
- 規律や礼節などの消防訓練礼式を学べる
- やりがいと充実感がある

地域を災害から守るために、私たちと一緒に活動しませんか？



## 消防・救急・地域防災フェア開催

平成23年9月11日、第一分団、第二分団、第三分団は、第一分団（潮田洋二分団長）が中心となり川越市立川越小学校において川越地区消防局などの協力のもと「消防・救急・地域防災フェア」を開催しました。

今回で3回目のフェアには、近隣にお住まいの300名を越える多くの方が来場され、放水体験、煙中避難訓練、女性消防団員による応急手当・AED訓練などの各種体験が行われました。

参加された方の年齢層は幅広く、子供達は、子供用防火衣を着用しての放水体験、はしご車の搭乗体験など、普段間近で見ることのできない消防車を前に目を輝かせていました。また、東日本大震災以降、市民の皆さまの防災に対する関心が一層深まっていることが感じられました。

川越市消防団の各分団は、管轄区域を中心に防災・減災を図るために積極的に地域に密着した活動を展開しています。



AED訓練



応急担架の作成



紙芝居



子供用防火衣を着用



放水体験

## 団員紹介

川越市消防団では、川越市内に在学する学生や在勤の社会人も、団員になることができます。大学生でありながら、消防団員としても活躍する2人を紹介します。

### 【霞ヶ関分団 小椋 悠太郎】

消防士を目指す学生である私は、何か社会に貢献したいという気持ちから消防団に入団しました。

防災訓練や操法大会、災害時の現場活動など思っていた以上に大変なこともありますが、自分や家族が周りの方々に助けられていることを実感し自分も恩返しができるよう日々努力しています。



### 【団本部 高橋 真理子】

大学生活とアルバイト以外に何かしたい、自分にできる活動はと考えていたところ、友人から誘われ、当初は軽い気持ちで入団しました。

大変なこともありますが、普通の生活では体験できない事ができ、多くの人と関われる場所です。

今では入団して本当に良かったと思っています。

私たちと一緒に消防団活動をしてみませんか？

問い合わせ：消防局総務課 消防団担当 TEL222-0741

川越市消防団

検索



# 川島町消防団だより

第一号

消防団長あいさつ



団長 石黒和廣

川島町消防団 団長の石黒和廣です。今号より年1回、広報誌「虹のまち」で川島町消防団だよりを掲載させていただきますことになりましたので、ごあいさつさせていただきます。

現在、川島町消防団は、団員百十八名(女性団員7名)で川島町民の皆様  
の生命、身体、財産を守るため、日々活動を行っています。

近年、消防団を取り巻く環境は大きく変わり、団員確保が大変厳しい状況にあります。一方、女性消防団員の確保は、全国的に年々増加しており、川島町消防団としても、平成22年4月から女性消防団員を7名採用しました。

女性団員は、消防団の活性化を図ることを目的として、防火訪問、防火広報、救急講習などの活動をしています。これから、町民の皆様と接する機会も増えてくると思います。普通救命講習会なども開催いたしますので、ぜひ、ご参加していただきたいと思います。

消防団は、水防団も兼務しています。特に、川島町は周囲を一級河川に囲まれていますので、河川の増水時には堤防の警戒などを実施しています。

また、毎年1回水防演習を実施していますが、昨年は震災がありましたので、増水期になる前に、2回堤防の点検を行いました。

日頃から、火災や災害に対応するため、訓練をしていますので、どうか町民の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。

自然と産業が調和する田園都市を守るため、これからも努力して参りますので町民の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

水防演習



積土のう



杭ごしらえ

防災訓練



応急手当(止血法)



応急担架づくり

女性消防団の活動紹介

川島町女性消防団は、平成22年4月に団員7名で結成されました。初年度は応急手当普及員の資格を取得し、男性消防団員や防災訓練で町民に指導しました。今後は火災予防の広報活動なども行い、活動の幅を広げて参ります。



AEDを使った心肺蘇生法を指導しています。



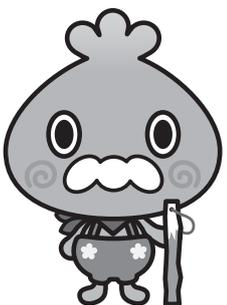
住宅用火災警報器の普及活動を行っています。

団員募集

川島町消防団は、ふるさとの安全と未来を守る消防団員を募集しています。  
問い合わせ 川島消防署消防課  
Tel 297-1891

川島町マスコットキャラクター

かわべえ



## 川島町消防団分団紹介

### 第一分団【中山地区】



現在15名で活動していますが、4名欠員のため、団員募集をしています。管内の火災予防広報などを実施し、地域住民の安心安全を守って行きたいと思っています。

### 第三分団【三保谷地区】



総勢18名で活動しています。地元で生まれ育ち、郷土を愛する気持ちは人一倍です。私たちの活動によって地域の防災意識が高まり、地元の為に少しでも貢献できるよう一丸となって活動したいと考えています。

### 第五分団【八ッ保地区】



私たち第五分団は、地域の方々に支えられながら、「自分たちが生まれ育った地域の『安心・安全』は、自分たちの手で守りたい」そんな気持ちで日々の消防団活動を頑張っています。

### 第二分団【伊草地区】



松本分団長を筆頭に若手中心の分団です。基本的には毎月1日と15日に巡回を実施しています。これからも巡回や訓練を通して、伊草地区の火災予防に努めて行きたいと思っています。

### 第四分団【出丸地区】



当分団は、「埼玉県消防協会川越支部消防ポンプ操法認定審査会」の過去16回の大会で最上位級の秀級を取り続けている唯一の分団です。団員の結束力も硬く、地域への活動にも積極的に参加しています。住みよいまちづくりにこれからも協力します。

### 第六分団【小見野地区】



私たち第六分団は、明るく陽気な分団長を中心に、地域に根ざした活動をしています。火災の消火はもちろん、予防活動も月2回の巡回を行うなど力を入れています。また、小学校や公民館の活動にも積極的に参加し、地域とのつながりも大切にしています。

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,486,441,224円 (92.5%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	3,807,168円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	229,395円 (0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	56,973,525円 (1.2%)
繰入金 (基金からの繰入金)	148,780,000円 (3.1%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	17,122,641円 (0.4%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	119,700,000円 (2.5%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	19,642,000円 (0.4%)
歳入合計	4,852,695,953円

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	5,206,430円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	3,844,337円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等)	4,548,412,239円 (94.0%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	282,850,945円 (5.8%)
歳出合計	4,840,313,951円

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

消防局総務課 TEL 222-0741

●川越地区消防組合消防音楽隊定期演奏会  
 管理者(川越市長)表彰、消防団長表彰  
 開演時間 午後2時30分  
 閉演時間 午後4時(予定)  
 ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。

●川越地区消防組合定例表彰式  
 閉式時間 午後1時  
 開式時間 午後2時15分  
 演奏会を開催します。入場無料。  
 開催日 平成24年3月4日(日)

川越地区消防組合定例表彰式・消防音楽隊定期演奏会

※本年度は開催日により時間、場所が異なりますのでご注意ください。  
 消防局予防課 TEL 222-0744

開催日時・場所  
 ●3月3日(土)午前10時30分～午後4時30分  
 アトレ川越6階コミュニティルームA  
 ●3月4日(日)午前11時00分～午後4時00分  
 川越市民会館



昨年の幼年消防クラブ絵画展の様子

毎年、春の全国火災予防運動期間中に、幼年消防クラブの絵画展を開催しています。園児たちの描く個性あふれた消防車などの絵をぜひご覧ください。皆様のご来場を待ちしています。

幼年消防クラブ絵画展

虹色通信 ～ 幼年消防クラブ ～

幼年消防クラブとは、幼稚園や保育園の長、先生、父母の方々のご理解のもと、その園を一つのクラブとして「〇〇園幼年消防クラブ」の名称で結成されています。

幼年消防クラブの大きな目的は、「幼稚園や保育園、家庭内で学ぶ機会の少ない防火・防災の意識を育み、家族みんなで家庭での火災を予防すること」です。

当消防組合では平成2年から幼年消防クラブを結成し、川越市産業博覧会、川島町消防出初式、春の全国火災予防運動期間中に行われている絵画展などで活動しています。

現在は7園が活動中ですが、当消防組合では、幼児期からの防火防災の担い手の育成のため、幼年消防クラブを随時募集しています。

消防局予防課 TEL 222-0744



川島町消防出初式の様子

消防局総務課 TEL 222-0741

●救急活動協力に貢献  
 ・川越市岸町三丁目地内 菊地哲也さん  
 ・三郷市戸ヶ崎一丁目地内 石井伸さん  
 ・南埼玉郡白岡町小久喜地内 菅田実さん  
 ・所沢市狭山ヶ丘二丁目地内 高橋千佳子さん  
 ・川越市南大塚四丁目地内 栗原直樹さん  
 株式会社 壽様

ありがとうございます

消火・救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

消防だより

虹のマーチ

2012.2 第21号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町4-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

火事・救急・救助は119番 消防テレホンサービス TEL 223-0700 \*かけまちがないようにご注意ください。

平成23年中の火災・救急・救助件数

火災	111件
救急	15,106件
救助	165件

119番入電件数は23,653件でした。

